

県内緩和ケアセンターの概要

千葉県がんセンター	
緩和ケアセンターの設置	緩和ケアチーム、緩和ケア外来、緩和ケア病棟等を有機的に統合する緩和ケアセンターを整備し、当該緩和ケアセンターを組織上明確に位置付けている。
緩和ケア病棟（病床数）	あり（25床）
緊急緩和ケア病床の入院	34例（H27.4.1～7.31）
連携協力している在宅療養支援診療所を対象にした患者の診療情報に係る相談等、いつでも連絡をとれる体制を整備している場合の実績	197件（H27.8.1～8.31） ・訪問看護ステーション 114 ・ケアマネージャー 51 ・訪問診療医 29 ・地域包括センター 3
地域の他施設が参加する多職種連携カンファレンスの開催状況	回数：2回（H27.6.1～H27.7.31） 参加施設数：①16施設 参加人数：①117人 ②36施設 ②46人
緩和ケアセンターにおいて専門的な知識及び技能を有するメンバー （医師・医師以外） （H27.9.1現在）	医師 常勤4名 看護師 常勤7名 薬剤師 常勤1名 臨床心理士 非常勤2名 理学療法士 常勤2名 作業療法士 常勤1名 管理栄養士 常勤1名 事務員 非常勤1名
都道府県がん診療連携拠点病院における緩和ケアセンターの活動内容（指定要件） （H27.9.1現在）	がん看護カウンセリング（看護外来）を実施 看護カンファレンス（週1回程度）を開催 緊急緩和ケア病床確保、在宅療養支援診療所等からの緊急入院体制整備 地域の病院や在宅療養支援診療所、ホスピス、緩和ケア病棟等の診療従事者と協働して緩和ケアにおける連携協力に関するカンファレンスを開催（月1回程度） 連携協力している在宅療養支援診療所等を対象にした患者の診療情報に係る相談等、いつでも連絡を取れる体制を整備 相談支援センターとの連携を図り、がん患者とその家族に対して、緩和ケアに関する高次の相談支援を提供する体制を確保 がん診療に携わる診療従事者に対して定期的な緩和ケアに関する院内研修会等を開催し、修了者を把握する等、研修の運営体制を構築 緩和ケアセンターの構成員が参加するカンファレンスを週1回以上の頻度で開催し、緩和ケアセンターの運営に関する情報共有、検討 緩和ケアチームを軸とした多職種による人員の適正配置（医師・医師以外）

出典：[平成27年度がん診療連携拠点病院現況報告書より作成]

## 国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院

地域がん診療連携拠点病院【初回指定日:2010/4/1 指定更新日:2015/4/1】

緩和ケア病棟のある病院

リンパ浮腫外来のある病院

基本情報

各種情報・窓口

がん相談支援センター

各種がんの情報

緩和ケア

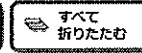
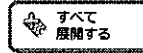
指定要件に関する情報1

指定要件に関する情報2

緩和ケアの情報を掲載しています。

更新日: 2016/04/06

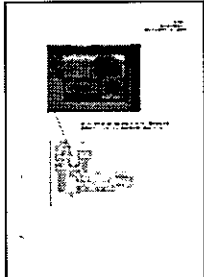
掲載日: 1997/06/18



### 緩和ケアチーム

クリックで詳細を開じる

緩和ケアチームの説明については「[がんの療養と緩和ケア](#)」をご覧ください。

メンバーの職種	身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、薬剤師、看護師、心理士
メッセージ	緩和ケアチームは、院内では支持療法チームを呼称しています。支持療法チームには、経験を積んだ医師、看護師、薬剤師、心理士、栄養士、理学療法士などの多職種が参画し、支持療法チーム内および担当医や病棟看護師と協働することで、患者さんとご家族のつらさを和らげるように活動しています。医師は日本緩和医療学会暫定指導医、緩和医療専門医、日本サイコオンコロジー学会認定登録精神腫瘍医が中心となり、診療に携わっています。看護師は、2名の専門看護師が専門的な看護ケアを提供しています。薬剤師は、各病棟に担当薬剤師が配置されており、その薬剤師と支持療法チームの薬剤師が必要に応じて密に連携をとれる体制を構築しています。入院だけでなく、外来においても、緩和医療科、精神腫瘍科が必要に応じて密に連携をとって、協働して診療を行っています。また、週に一度のカンファレンス、症例検討会、抄読会を行うことで、多職種間の情報共有と緩和ケアに関する技術、知識の向上に努めています。
緩和ケアに関する広報	<p>画像をクリックすると拡大表示します。</p> 

### 緩和ケア相談窓口

窓口があります

クリックで詳細を開じる

窓口の名称	サポータティブケアセンター／がん相談支援センター	
対象となる医療機関の制限	制限なし	
窓口の対応者の職種	医師、看護師、ソーシャルワーカー、薬剤師、栄養士	
☑ 電話相談	実施しています	クリックで詳細を開く
☑ FAX相談	実施しています	クリックで詳細を開く
電子メール相談	実施していません	

### 緩和ケア外来

クリックで詳細を開じる

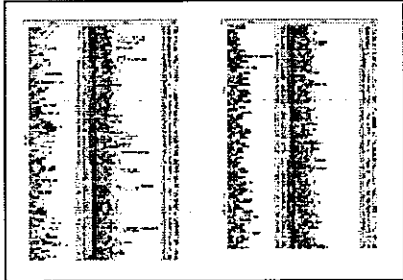
緩和ケア外来の説明については「[がんの療養と緩和ケア](#)」をご覧ください。

☑ 緩和ケア外来	設置されています	クリックで詳細を開く
☑ 問い合わせ窓口		クリックで詳細を開く
☑ 主な診療内容と特徴		クリックで詳細を開く

### がん看護カウンセリング

クリックで詳細を開じる

がん看護外来	設置していません
☑ 問い合わせ窓口	クリックで詳細を開じる

<input checked="" type="checkbox"/> 緩和ケア病棟		設置されています	<a href="#">クリックで詳細を開く</a>
<input checked="" type="checkbox"/> 緩和ケア診療体制		<a href="#">クリックで詳細を開じる</a>	
緩和ケアチーム、緩和ケア外来、緩和ケア病棟などを統合する体制	緩和ケアセンターを整備している		<input type="radio"/>
治療や処方	緩和ケアの経験を有する医師(緩和ケアに係る研修を受けた医師)が行っている		<input type="radio"/>
	緩和ケアを担当する医師が行っている		<input type="radio"/>
診断結果や症状の説明	看護師や医療心理に携わる者などの同席を基本としている		<input type="radio"/>
	看護師などによるカウンセリングを行っている		<input type="radio"/>
	治療プロセス全体についてインフォームドコンセントに努めている		<input type="radio"/>
服薬指導	自記式の服薬記録の活用による自己管理の指導を行っている		<input type="radio"/>
身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的苦痛などのスクリーニング	外来および病棟において診断時から行っている		<input type="radio"/>
	緩和ケアチームと連携し対応している		<input type="radio"/>
各部署との連携	各種専門チームや委員会と病棟看護師をつなぐリンクナースを配置している		<input type="radio"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 地域連携		<a href="#">クリックで詳細を開じる</a>	
情報提供	2次医療圏内の緩和ケア病棟や在宅緩和ケアが提供できる診療所などの情報を提供している		<input type="radio"/>
退院後の在宅診療	がん疼痛などの緩和ケアに関する治療が継続できる体制を整備している		<input type="radio"/>
退院時の診療計画の作成	地域の医療機関などと協力して作成している		<input type="radio"/>
退院前カンファレンス	地域の在宅診断に携わる医師や訪問看護師などと実施している		<input type="radio"/>
緩和ケアマップ	画像をクリックすると拡大表示します。 		

[各種がんの情報](#)

[指定要件に関する情報1](#)

# 千葉大学医学部附属病院

地域がん診療連携拠点病院【初回指定日:2008/2/8 指定更新日:2015/4/1】

基本情報

各種情報・窓口

がん相談支援センター

各種がんの情報

緩和ケア

指定要件に関する情報1

指定要件に関する情報2

緩和ケアの情報を掲載しています。

更新日: 2016/04/06

掲載日: 2008/03/17

すべて展開する

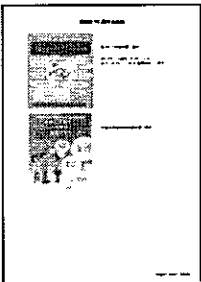
すべて折りたたむ

すべて展開して印刷

緩和ケアチーム

クリックで詳細を開じる

緩和ケアチームの説明については「がんの療養と緩和ケア」をご覧ください。

メンバーの職種	身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、ソーシャルワーカー、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士
メッセージ	がんと診断された患者さんには手術、化学療法、放射線療法といったがんと戦うことを目的とした治療が開始されます。これらの治療と並行して行うべき治療、ケアとして身体や心の苦痛に対する治療があります。治療は時につらい副作用を伴います。期待した通りの結果が得られないこともあるかもしれません。がんの再発と言った説明が主治医からあるかもしれませんが。そのような時にも、身体や心の苦痛を可能な限り和らげ最善の治療および療養生活が受けられるように援助させていただくこと、それが我々緩和ケアチームの役目です。
緩和ケアに関する広報	<p>画像をクリックすると拡大表示します。</p> 

緩和ケア相談窓口

窓口があります

クリックで詳細を開じる

窓口の名称	がん相談支援センター／地域医療連携部
対象となる医療機関の制限	制限なし
窓口の対応者の職種	-
☑ 電話相談	実施しています <span style="float:right">クリックで詳細を開く</span>
☑ FAX相談	実施していません <span style="float:right">クリックで詳細を開く</span>
電子メール相談	実施していません

緩和ケア外来

クリックで詳細を開く

がん看護カウンセリング

クリックで詳細を開じる

☑ がん看護外来	設置されています <span style="float:right">クリックで詳細を開く</span>
☑ 問い合わせ窓口	<span style="float:right">クリックで詳細を開く</span>

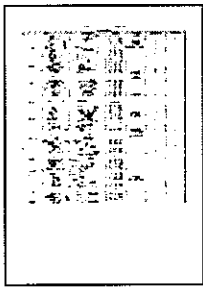
緩和ケア病棟

設置されていません

緩和ケア診療体制

クリックで詳細を開じる

緩和ケアチーム、緩和ケア外来、緩和ケア病棟などを統合する体制	緩和ケアセンターを整備している	○
治療や処方	緩和ケアの経験を有する医師(緩和ケアに係る研修を受けた医師)が行っている	○
	緩和ケアを担当する医師が行っている	○

診断結果や症状の説明	看護師や医療心理に携わる者などの同席を基本としている	○
	看護師などによるカウンセリングを行っている	○
	治療プロセス全体についてインフォームドコンセントに努めている	○
服薬指導	自記式の服薬記録の活用による自己管理の指導を行っている	○
身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的苦痛などのスクリーニング	外来および病棟において診断時から行っている	○
	緩和ケアチームと連携し対応している	○
各部署との連携	各種専門チームや委員会と病棟看護師をつなぐリンクナースを配置している	○
☐ 地域連携 <span style="float: right;">クリックで詳細を開じる</span>		
情報提供	2次医療圏内の緩和ケア病棟や在宅緩和ケアが提供できる診療所などの情報を提供している	○
退院後の在宅診療	がん疼痛などの緩和ケアに関する治療が継続できる体制を整備している	○
退院時の診療計画の作成	地域の医療機関などと協力して作成している	○
退院前カンファレンス	地域の在宅診断に携わる医師や訪問看護師などと実施している	○
緩和ケアマップ	画像をクリックすると拡大表示します。 	

◀ 各種がんの情報

指定要件に関する情報1 ▶